

NEC Advanced Analytics Platform

V1.5

マネージドサービス

(再販向け：エントリー、エントリープラスプラン)

サービス仕様書

1.0 版

日本電気株式会社

改版履歴

版	作成日	変更内容
1.0	2022/7/27	<ul style="list-style-type: none"> ・新規作成 (AAPF V1.3 マネージドサービス (再販向け: エントリー、エンタープライズプラン) サービス仕様書 1.1 版ベース) ・1.1 本文書の位置付け: ドキュメント体系図、ドキュメント説明に追加・削除ドキュメント (アップデート対応ガイド・仕様等補足資料を追加、SAMPO/FAB のドキュメント削除) を反映。その他説明の見直し ・1.3 用語集: 異種混合学習、および表 2.1: ライセンス、3.1.1、5 注意事項 14) にて、SAMPO/FAB 非搭載に伴う注記追加 ・表 2.2: 作業依頼、および表 2.3 にて、サポート対応一覧を表 2.3 にまとめた ・表 3.1: その他、および 3.1.11 その他にて、Jupyter Notebook Server ログを追加 ・3.2.1.3 アップデートについて説明記載 ・表 3.2 作業依頼の申請期日の注記を追加 ・表 4.2 アップデート対応の責任範囲、※6 を追記 ・5 注意事項 5)、15) にアップデートの注記追加 ・一般的に AAPF の Ver を 1.3 から 1.5 に変更

目次

1	本文書について	3
1.1	本文書の位置付け	3
1.2	本文書の改版	6
1.3	用語集	7
2	サービス体系	10
2.1	AAPF マネージドサービスの動作要件	11
2.2	AAPF マネージドサービスの概要	13
2.2.1	再販契約の準備	14
2.2.2	サービス一覧	15
3	サービス内容	20
3.1	提供機能	20
3.1.1	異種混合学習エンジンおよびAPI	20
3.1.2	RAPID 機械学習（マッチング）エンジンおよびAPI	21
3.1.3	RAPID 機械学習（時系列数値解析）エンジンおよびAPI	21
3.1.4	テキスト分析エンジンおよびAPI	21
3.1.5	対話型UI（Jupyter）	21
3.1.6	WebUI 機能	21
3.1.7	ライブラリアドオン	22
3.1.8	Web API 機能	22
3.1.9	AI-API フレームワーク	22
3.1.10	拡張機能	22
3.1.11	その他	22
3.2	非機能要件	23
3.2.1	サービスレベル	23
3.2.2	サービス提供時間	24
3.2.3	サービス利用料	24
3.3	その他	25
3.3.1	問合せ	25
3.3.2	利用申請	26
3.3.3	サポートライフサイクル	26
4	責任範囲	27
4.1	システム作成時の責任範囲	27
4.2	システム利用時の責任範囲	28
4.3	システム解約時の責任範囲	29
5	注意事項	30
6	制限事項	31
7	禁止事項	32

1 本文書について

本文書は、秘密保持対象ドキュメントとして、事業者の許可なくコピーおよびその配布、ホームページへの掲載を禁じます。

新規に再販契約を希望される再販契約者は、その時点での最新サービス仕様書（再販向け）を参照頂き、再販向けのサービス仕様を確認してください。

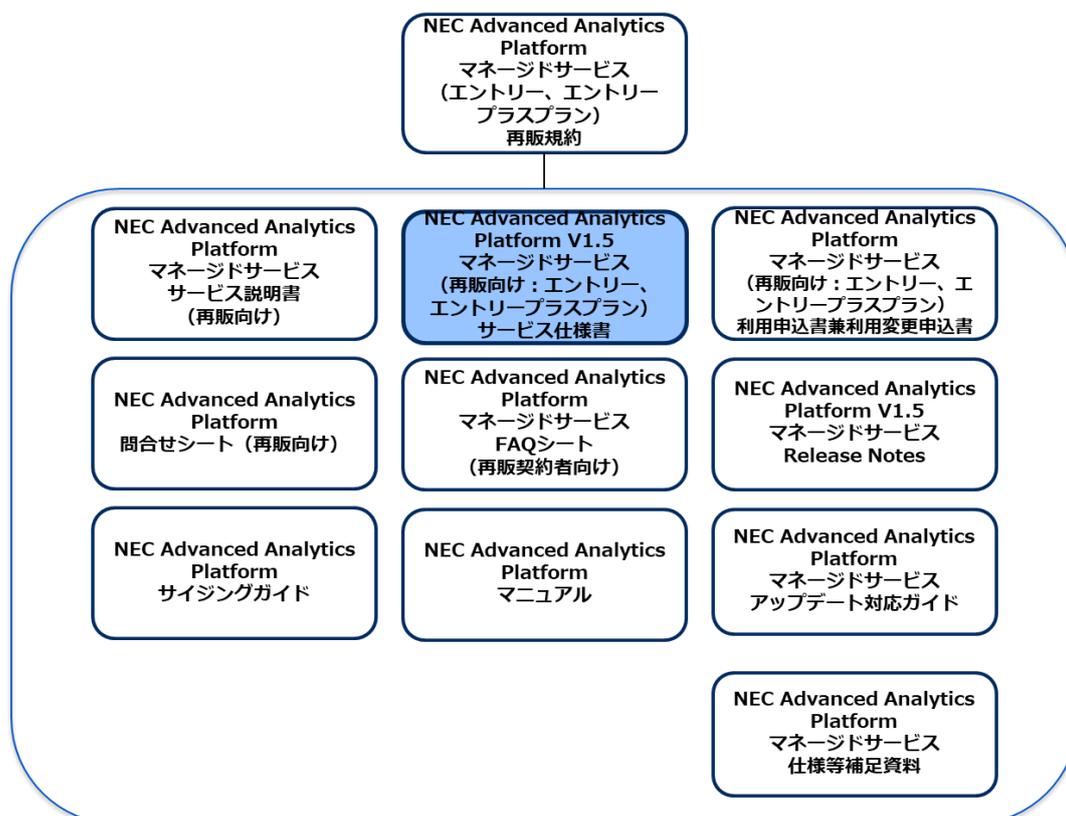
AAPF マネージドサービスの提供内容は変更する場合がございます。それに伴い、本文書を見直します。

1.1 本文書の位置付け

本文書は、再販契約者が再販契約者サービスを最終顧客へ提供することを目的として、再販契約者向けに事業者が提供する「NEC Advanced Analytics Platform V1.5 マネージドサービス（再販向け：エントリー、エントリープラスプラン）」（以下、AAPF マネージドサービス）のサービス仕様を記載した文書です。

再販契約者は「NEC Advanced Analytics Platform V1.5 マネージドサービス（エントリープラン、エントリープラスプラン）再販規約」、および本書の定めに従い、本サービスの機能、品質、保証、免責、仕様などを最終顧客に適切に説明し、最終顧客との間で、再販契約に基づき再販契約者が負うべき義務と同等の義務を、利用規約等を締結することにより課し、これを遵守させるものとします。

関連ドキュメントとの関係は以下の通りです。



No	ドキュメント名	説明
1	再販規約	当社と再販契約者との間に締結される本サービスの再販に関する契約の再販規約をまとめたドキュメント。別紙に料金表、月次報告を定める
2	サービス仕様書（再販向け）	AAPF マネージドサービスの仕様を記載したドキュメント
3	利用申込書兼利用変更申込書（再販向け）	再販契約者が AAPF マネージドサービスを申し込む際、および契約内容変更時に使用する申込書
4	問合せシート（再販向け）	再販契約者が問合せの場合に利用するシート
5	サービス説明書（再販向け）	マネージドサービスの特長や料金、申込方法などを記載した説明書
6	FAQ シート（再販向け）	FAQ を記載したシート
7	Release Notes	マネージドサービスの最新バージョンの新機能、変更点、改修済みの問題、既知の問題、非推奨機能などを説明するドキュメント
8	NEC Advanced Analytics Platform マニュアル	NEC Advanced Analytics Platform（以降 AAPF と記載）上の操作・制限事項・留意事項などについてまとめたドキュメント群 ※後述の「AAPF マニュアルに関する補足説明」を参照ください。 なお、バージョンによって仕様が異なるため、バージョンをお確かめのうえ参照ください。
9	サイジングガイド	分析環境のリソースを選択する上で参考となるドキュメント エントリープラン、エントリープラスプランで分析可能なボリュームの目安となる簡易版もあり
10	アップデート対応ガイド	AAPF がアップデートされる場合にユーザーに対応いただく必要がある作業や注意点などをまとめたドキュメント
11	仕様等補足資料	AAPF をご利用いただくにあたって特に留意いただきたい諸元値や仕様をまとめたドキュメント

<AAPF マニュアルに関する補足説明>

No	ドキュメント名	説明
8-1	Release Notes（イメージ）	イメージ毎の最新バージョンの新機能、変更点、改修済みの問題、既知の問題、非推奨機能を説明するドキュメント
8-2	overview（AAPF）	AAPF の概要とアーキテクチャについて説明したドキュメント
8-3	OSS_LICENSE（AAPF）	AAPF を構成するソフトウェアの各種ライセンスを示すドキュメント
8-4	OSS_LICENSE（イメージ）	イメージ毎に構成するソフトウェアの各種ライセンスを示すドキュメント

8-5	AAPF Getting Started	Jupyter Notebook へのアクセス方法と分析のクイックスタート方法を記載するドキュメント。前述の「overview (AAPF)」を読み、AAPF の概要を理解した後、本ドキュメントを用いて利用開始することを推奨
8-6	AACluster User Guide	AACluster の利用方法を記載。 Jupyter Notebook の WebAPI を利用してファイルのアップロード/ダウンロードを行う場合など AAPF にて分析を行う際に参照するドキュメント。アプリケーション開発者は後述の「AI-API 作成ガイド」を読み、AI-API を理解した後、本ドキュメントを参照することを推奨
8-7	AAPF WebAPI Reference	AAPF WebAPI の外部仕様について記載。 WebAPI で AAcuster の作成・削除や AAPF API Token の作成・削除等を行いたい場合に参照するドキュメント ※下記 URL にアクセスし閲覧（閲覧には Google Chrome または Firefox が必要） <a href="https://<Web サービスノードの URL>/docs/aapf-webapi-reference">https://<Web サービスノードの URL>/docs/aapf-webapi-reference
8-8	AI-API 作成ガイド	AI-API の作成方法を具体例を交えて記載。特にアプリケーション開発者が外部アプリケーションにて AAPF の機能を利用するなど、他のアプリケーションと連携する場合等に参照するドキュメント
8-9	nbexec User Guide	nbexec の外部仕様について記載。 nbexec は Jupyter Notebook を AI-API として実装するための Jupyter extension。 AI-API 作成ガイドと合わせて、より詳細な AI-API の作成を行う際に参照するドキュメント
8-10	sklearn-fab Reference [sklearn-fab]	sklearn-fab の外部仕様を記載
8-11	sklearn-fab Hands-on [sklearn-fab]	sklearn-fab を利用した分析手順を記載
8-12	sklearn-fab Migration Guide [sklearn-fab]	sklearn-fab への移行方法を記載
8-13	FAB Engine Reference [sklearn-fab]	FAB Engine の外部仕様を記載
8-14	RAPID Matching Python API Getting Started [RAPID 機械学習 (マッチング)]	RAPID 機械学習 マッチング Python API を使用した分析の例 (サンプルコード) を記載

8-15	RAPID Matching Python API Reference [RAPID 機械学習 (マッチング)]	RAPID 機械学習 マッチング Python API の外部仕様を記載
8-16	RAPID TSA Python API Getting Started [RAPID 機械学習 (時系列数値 解析)]	RAPID 機械学習 時系列数値解析 Python API を使用した分析の 例 (サンプルコード) を記載
8-17	RAPID TSA Python API Reference [RAPID 機械学習 (時系列数値 解析)]	RAPID 機械学習 時系列数値解析 Python API の外部仕様を記載
8-18	DeSTER Python API Getting Started [テキスト分析]	DeSTER Python API を使用した分析の例 (サンプルコード) を記 載
8-19	DeSTER Python API Reference [テキスト分析]	DeSTER Python API の外部仕様を記載

1.2 本文書の改版

本文書の見直しは、AAPF マネージドサービスの提供内容の変更に伴い実施します。

1.3 用語集

用語	説明
AAPF (NEC Advanced Analytics Platform)	AAPF マネージドサービスに搭載している「検証～導入～活用」を包括的に支援する分析ソフトウェア。
異種混合学習	<p>NEC が提供する AI 技術のひとつで、多種多様なデータから自動で複数の規則性を発見し、高精度で解釈性の高い予測結果を得ることができます。本サービスでは本技術を搭載した分析エンジンおよび API を提供します。</p> <p>注：AAPF V1.3 マネージドサービスまでは SAMPO/FAB と sklearn-fab の 2 種類ありましたが、AAPF V1.5 マネージドサービスのイメージには SAMPO/FAB は搭載されません。なお、AAPF V1.3 マネージドサービスから AAPF マネージドサービスをご利用されていたお客様の環境に限定して SAMPO/FAB を含む AAPF V1.3 マネージドサービスのイメージ（以降、旧イメージ）が提供されます。また、AAPF V1.3 マネージドサービスの旧イメージは AAPF V1.5 マネージドサービス開始から 2 年間は利用できますが、旧イメージに対する脆弱性や不具合の改修は行わず、問合せ対応も可能な範囲での回答となるため、早めに sklearn-fab への移行をお願いいたします。</p>
RAPID 機械学習	NEC が提供する AI 技術のひとつで、非構造化データに対応した高速・軽量の機械学習を可能とし、お手本データを学習させることで、判断モデル(法則)を自動生成します。本サービスでは本技術のうち「時系列数値解析版」「マッチング版」を搭載した分析エンジンおよび API を提供します。
テキスト分析	NEC が提供する AI 技術のひとつで、テキスト文中における単語の重要性や、品詞などの文の構造を考慮し、二つの文が同じ意味を含むかどうかを高精度・高速に判定します（テキスト含意認識技術）。同じ意味なのに異なる表現が用いられていたり、異なる意味なのに同じ単語が使われていたりしても、正しい分析結果を得られます。本サービスでは本技術を搭載した分析エンジンおよび API を提供します。
事業者	AAPF マネージドサービスの提供者。

再販契約者	当社との間でAAPFマネージドサービスの再販規約に基づく再販契約を締結した法人その他の団体をいいます。本書では本契約の窓口となる方（管理者）を指します。
再販契約者サービス	再販契約者が本サービスを利用して最終顧客に提供するサービス。再販契約者は本サービスに以下のようなサービスを付加して最終顧客に提供する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術的なフォロー ・ 問合せの一次受け（使用方法等は再販契約者が最終顧客に回答） ・ 分析サービスの提供 など なお、問合せの一次受けは必須です。
最終顧客	再販契約者との間で、再販規約に基づく利用契約を締結した法人その他の団体をいいます。
認定利用者	最終顧客から本サービスの利用を許された委託先の法人その他団体における個人をいいます。
利用者、AAPF ユーザ	AAPFを利用するユーザの総称で、最終顧客に再販契約者サービスを提供する目的で再販契約者が利用する場合、および最終顧客、認定利用者指します。 <p>ユーザはデータサイエンティスト、アプリケーション開発者、アプリケーションのユーザ、アプリケーションの運用管理者に分類されます。</p> <p>データサイエンティストはAI活用における検証フェーズとして、分析プロセス設計、API設計、ダッシュボード設計等を実施するユーザを指します。</p> <p>アプリケーション開発者はAI活用における導入フェーズとして、アプリケーションの開発・運用環境の構築、AI機能のアプリケーションへの組み込み等を実施するユーザを指します。</p> <p>アプリケーションのユーザおよび運用管理者はAI活用における活用フェーズとして、アプリケーション開発者の構築したアプリケーションの利用・運用を実施するユーザを指します。</p>
AACluster	AAPF が提供する、分析のためのディスプレイ環境、および環境を作成するためのコマンド。Jupyter や Apache Spark といったサービス（Docker コンテナ）を効率的に利用して分析を行えます。
マネジメントノード	AAPF および AAcuster を管理するノード。Web サービスノード経由で AAcuster を起動し、分析を開始します。事業者は、このノードに接続して AAPF の各種構成変更をします。

Web サービスノード	<p>AAPF API Token の作成・削除や AACluster を作成・削除できる AAPF WebUI を提供するノード。</p> <p>AAPF WebUI/WebAPI が稼動するノード。</p>
ストレージノード	分析対象データや分析結果を格納するノード。
コンテナノード	AACluster（を構成する Docker コンテナ群）が稼動するノード。
WebUI	AAPF API Token や AACluster を操作（作成、削除など）できます。
WebAPI	任意の HTTP Client を使って WebAPI を呼び出し、AACluster を操作（作成、削除など）できます。
AI-API	AI-API を呼び出すことで Jupyter Notebook ファイル(. ipynb)を実行することができます。
AI-App(s)	AI-API を用いて開発した各種アプリケーション。

2 サービス体系

再販契約者向けの AAPF マネージドサービス（再販向け）は、最終顧客が内部業務目的に分析検証を実施するため再販契約者が最終顧客に提供する再販契約者サービスにおいて、AAPF を利用するため AAPF マネージドサービスの事業者がパブリッククラウドサービス上に AAPF 環境を構築し、再販契約者に提供するサービスです。

再販契約者サービスは再販契約者が本サービスを利用して最終顧客に提供するサービスで、再販契約者は本サービスに以下のようなサービスを付加して最終顧客に提供する必要があります。

- ・ 技術的なフォロー
- ・ 問合せの一次受け（使用方法等は再販契約者が最終顧客に回答）
- ・ 分析サービスの提供 など

なお、問合せの一次受けは必須です。

AAPF マネージドサービスの注意、制限および禁止事項については、それぞれ「5. 注意事項」「6. 制限事項」「7. 禁止事項」を参照してください。

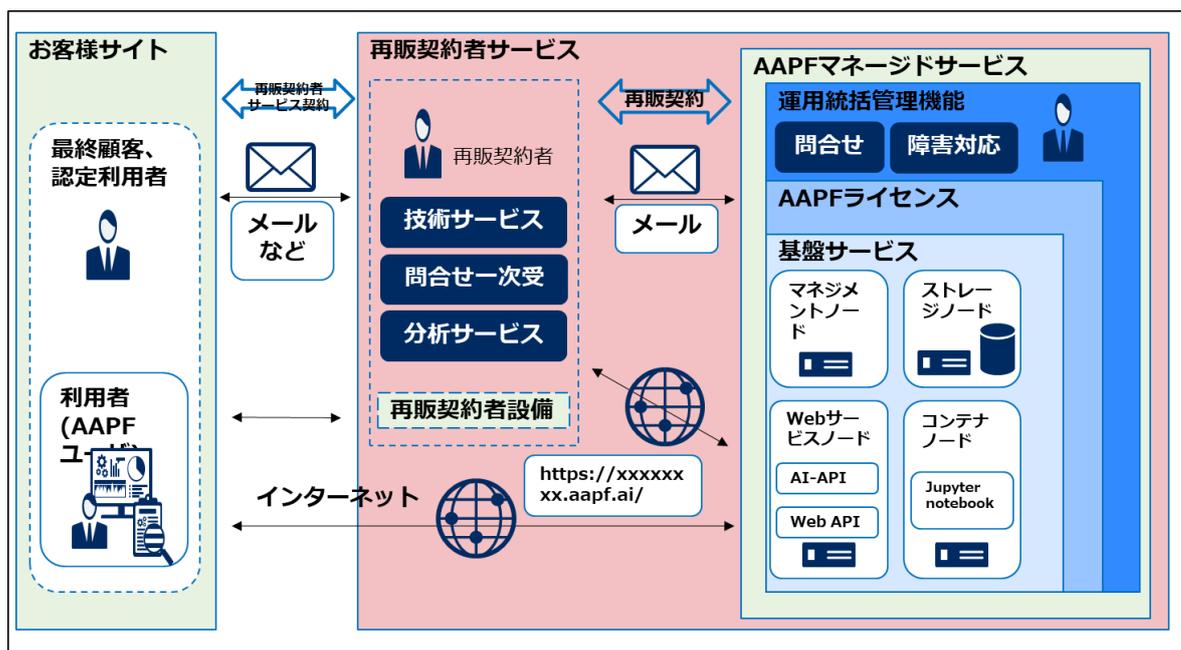


図 2.1 AAPF マネージドサービス再販の体系図

2.1 AAPF マネージドサービスの動作要件

AAPF マネージドサービスの動作要件は以下の通りです。

表 2.1 AAPF マネージドサービスの動作要件

項目	要件
サーバスペック、ストレージ容量	<ul style="list-style-type: none"> ・契約プランに応じて、ユーザーごとに下記コンテナノードのスペック、およびストレージノードのストレージ容量が割り当てられます。 ・エントリープラン：vCPU1 コア、8GB メモリー、ストレージ 20GB ・エントリープラスプラン：以下のいずれかの契約となります。 <ul style="list-style-type: none"> - vCPU4 コア、32GB メモリー、ストレージ 40GB - vCPU1 コア、8GB メモリー、ストレージ 20GB <p>※ユーザーごとの vCPU 数、メモリ量の変更はできません。</p> <p>※vCPU 数は、ユーザーごとの最低割当保証です。他ユーザーが vCPU を使用していない場合、空きに応じて割当保証以上の vCPU 数を利用できます。メモリー、ストレージ容量は上限です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エントリープラスプランではストレージ容量を拡張可能です。 <p>※注意事項があります。後述の「5 注意事項」の 11) を参照ください。</p>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者にて利用者が分析環境を利用するための URL (FQDN) を決定し、再販契約者に提供します。 <p>※URL は再販契約者へ通知します。URL は変更できません。</p> <p>※利用者端末から AAPF マネージドサービスへのアクセスするため以下の要件を満たす必要があります、</p> <ul style="list-style-type: none"> -AAPF アクセスのために最低限必要なサービスポート (https(443)/tcp) が許可されている事 -HTTPS 通信において[GET/POST/PUT/DELETE/PATCH/WS]メソッドの通信が許可されている事
必須ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・Chrome (Version 67 以上), Firefox (Version 52 以上) <p>※上記は、利用者が Web サービスノードに HTTPS にて接続し、本サービスを利用するために必要な Web ブラウザです。Internet Explorer、Microsoft Edge 等の他のブラウザはサポート外となります。</p>
ライセンス	<ul style="list-style-type: none"> ・異種混合学習機能 (SAMPO/FAB(注)、sklearn-fab) ・RAPID 機械学習マッチング機能 ・RAPID 機械学習時系列数値解析機能 ・テキスト分析機能 <p>注：SAMPO/FAB は AAPF V1.5 マネージドサービスから標準搭載されません。なお、AAPF V1.3 マネージドサービスから AAPF マネージドサービスをご利用されて</p>

	<p>いたお客様の環境に限定して SAMPO/FAB を含む AAPF V1.3 マネージドサービスのイメージ (以降、旧イメージ) が提供されます。また、AAPF V1.3 マネージドサービスの旧イメージは AAPF V1.5 マネージドサービス開始から 2 年間は利用できますが、旧イメージに対する脆弱性や不具合の改修は行わず、問合せ対応も可能な範囲での回答となるため、早めに sklearn-fab への移行をお願いいたします。</p>
<p>認証方式</p>	<ul style="list-style-type: none"> • AAPF マネージドサービスでは、以下認証方式を許可しています。 WebUI ログイン : パスワード認証 AI-API 利用 : Jupyter Notebook で発行した Jupyter Token による認証 ※WebUI ログインは利用者 (AAPF ユーザ) のユーザ名とパスワードを使用。 • パスワードは以下の種類があり、各種制限があります。 WebUI パスワード : 10 文字以上の英数字記号。英字と数字は必ず 1 文字以上含むこと
<p>セキュリティ</p>	<p>下記 3 つの方針でセキュアにご利用頂けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ID、パスワードによるログイン認証。 • データ分析を行う通信はすべて HTTPS (TLSv1.2) によって暗号化。 • 事業者によるアクセス権設定により、ユーザーはユーザー自身のストレージにのみアクセス可能。 <p>また、AAPF V1.5 マネージドサービスからストレージノードのユーザーデータを暗号化します。ストレージデバイスが盗難・流用された場合に秘匿性を保ちます。</p>
<p>外部連携 (VPC Peering)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • エントリー、エントリープラスプランではご利用頂けません。外部連携 (VPC Peering) をご利用される場合はスタンダードプランをご契約頂く必要があります。 • 利用者の DB やアプリケーションと連携する場合などは AI-API、Jupyter WebAPI、AAPF WebAPI を使用してやりとりする必要があります。

2.2 AAPF マネージドサービスの概要

AAPF マネージドサービスの再販イメージは、図 2.2 の通りです。

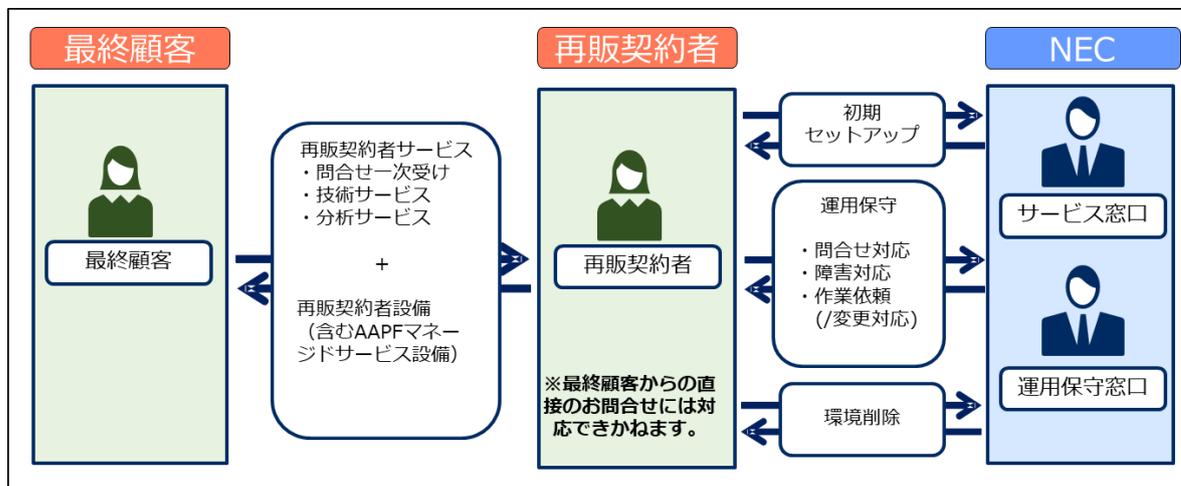


図 2.2 AAPF マネージドサービスの再販イメージ

2.2.1 再販契約の準備

再販契約のまえに再販契約者とサービス内容、ビジネスプラン、体制（責任者、調整窓口担当者）を共有してもらい事業者と再販契約者で協議の上、料金を決定。料金表は再販規約の別紙Aに添付。なお、再販契約者は本サービスに以下のような付加価値（問合せの一次受けは必須）を加えて提供する必要があり、これらの付加価値を含めた再販契約者サービスとして最終顧客に提供する必要があります。

- ・問合せの一次受け（使用方法等は再販契約者が最終顧客に回答する）
- ・技術的なフォロー
- ・分析サービスの提供 など

最終顧客ごとの再販申込時に再販申込書に添付する再販規約とサービス仕様書の規定に合意することを記載してある再販申込書に署名、捺印して提出。事業者が了承した旨、回答した段階で再販契約締結となります。

初めての申込み（契約）のときは料金含む再販規約、サービス仕様書への合意のため、事前に提示頂いた体制の責任者の承認にて申し込むようにお願いします。

なお、再販契約者は再販規約、および本書の定めに従い、本サービスの機能、品質、保証、免責、仕様などを最終顧客に適切に説明し、最終顧客との間で、再販契約に基づき再販契約者が負うべき義務と同等の義務を、利用規約等を締結することにより課し、これを遵守させる義務があります。

その他、再販規約の定め通り、毎月再販状況の実績を報告（月次報告は再販規約の別紙Bを参照）。ビジネスプラン、体制の変更が生じたい場合は速やかに報告頂く。また、毎年1月末日までに次年度の再販計画を書面で提出するものとします。

2.2.2 サービス一覧

AAPF マネージドサービスのサービス一覧は以下の通りです。

表 2.2 サービス一覧表

サービス		説明
初期セットアップ		再販契約者からの再販申込に応じて、要件をヒアリングした上で、分析環境を利用できる状態にセットアップします。最終顧客ごと、および用途別の再販申込のたびに必要です。
運用・保守 (サポート対応) (※1)	問合せ対応	再販契約者からの問合せに対応します(最終顧客からの問合せを直接受けることはできません)。
	障害対応	再販契約者からの申告、または事業者側で検知した障害について復旧に向けて対応します。(事業者責の障害の対応となります。再販契約者、および最終顧客の責の障害については再販契約者にて対応頂きます)
	作業依頼	再販契約者からの依頼に対応します。対応可能な作業は「表 2.3 サポート対応一覧」を参照ください。ただし、依頼内容によっては対応できない場合もあります。
環境削除		利用申込書兼利用変更申込書に記載の終了日に環境を削除します。

※1 運用・保守(サポート対応)について、事業者責以外の対応については、プラン別に契約ごとにひと月のサポート対応件数の上限を規定しています(エントリープランは1件まで、エントリープラスプランは2件まで)。

上限を超える対応が必要な場合は、予めサポート対応件数の追加オプションをお申し込みください。結果的に対応実績が上限を超えた場合は再販契約者と協議のうえ対応を決定します。

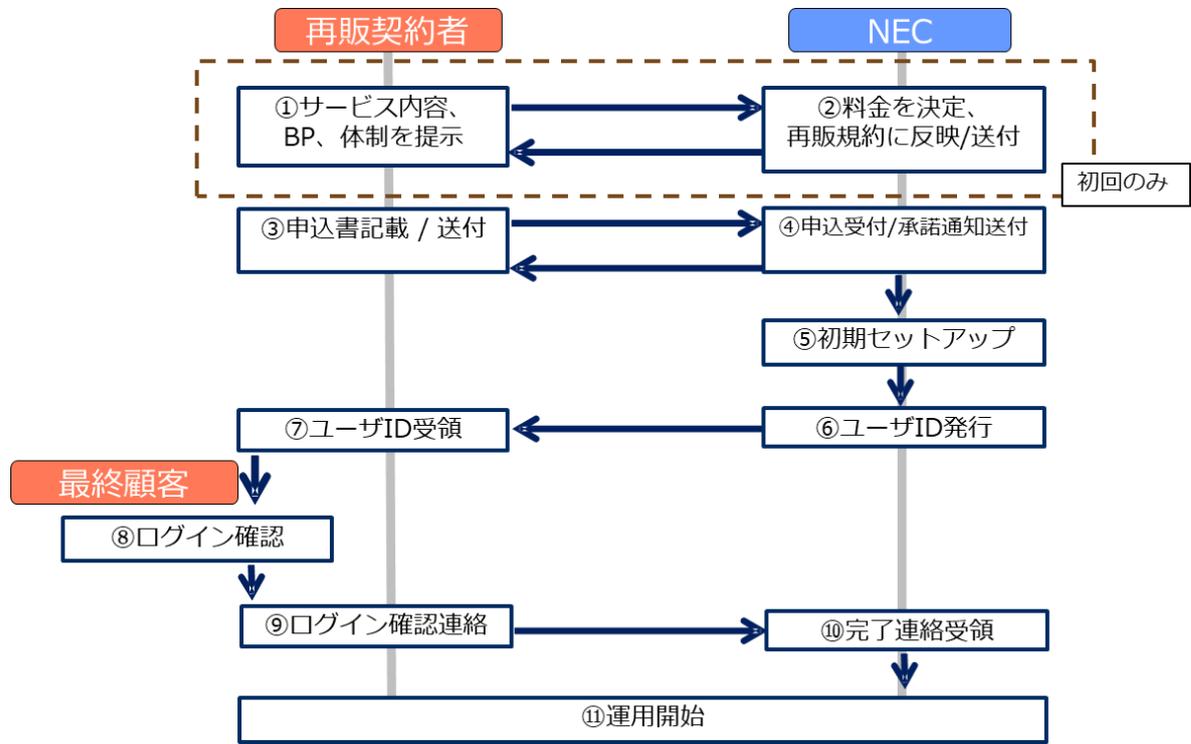
運用・保守(サポート対応)について、約2時間/件の作業を想定しております。作業規模が想定を超える作業の依頼につきましては別途費用調整が必要となります。問合せ・依頼方法は「3.3.1 問合せ」を参照ください。

表 2.3 サポート対応一覧

種別	作業項目	エントリー	エントリープラス	備考
	問合せ件数 (標準)	1回/月	2回/月	オプション (有償) で追加可能。
標準サービス	WISEエンジンイメージ、WISEエンジンなしイメージの利用	○	○	NEC the WISE エンジンについて、エントリー・エントリープラスでは異種混合学習、RAPID機械学習、テキスト含意認識のエンジンが利用できます。
	利用者 (AAPFユーザ) 追加			
	接続元IPアドレス制限設定			
	追加イメージのアップロード			
	AAPF V1.2.2互換イメージの利用			
	外部連携設定			
	リソース制限の設定			
	パスワード初期化	○	○	サポート対応1件とカウント。
	アカウントロック・解除	○	○	サポート対応1件とカウント。
	強制ログアウト	○	○	サポート対応1件とカウント。
	リストア要求 (お客様要求時)			
リストア要求 (環境障害時)	○	○	環境が壊れた場合に、弊社が指定する過去のバックアップの状態にリストアするサービス	
計画停止日の調整			弊社が予め提示する日時で行います。	
オプション (有償)	コア数・メモリの拡張 (コンテナ追加) ・縮小、削除			
	追加エンジン			
	ストレージ容量の拡張		○	10GB単位で拡張可能。縮小はできません。 拡張したストレージの利用料は有償。 ストレージ容量の拡張作業はサポート対応1件とカウント。 ※注意事項がありますので、後述の「5 注意事項」の11)を参照ください。
	GPUの利用			
	ウイルスチェック			
運用・保守 (サポート対応1件追加)	○	○		

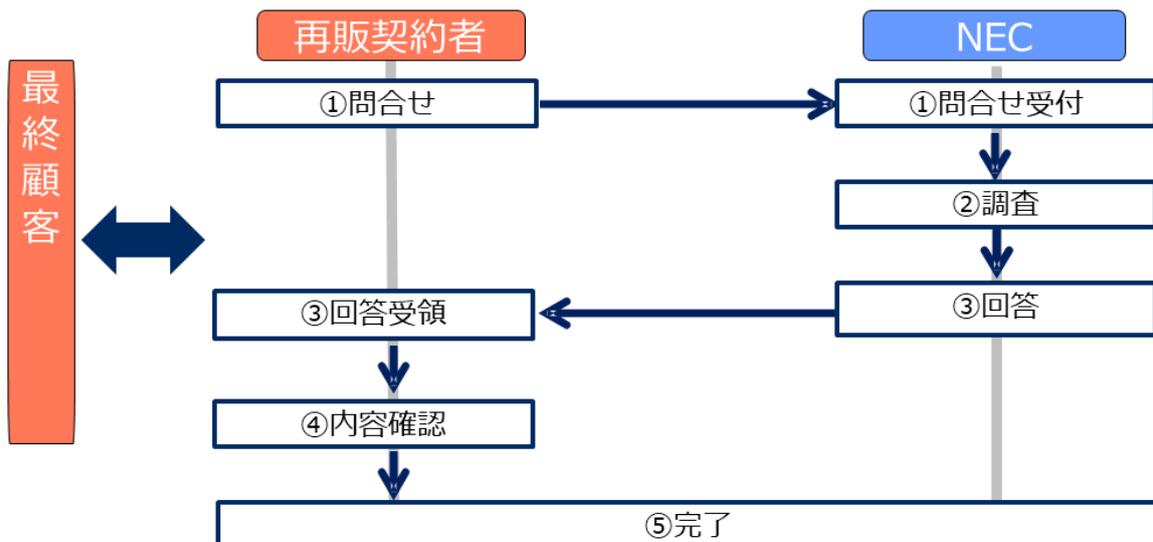
サービスのフローは以下の通りです。

◆再販申込、初期セットアップ

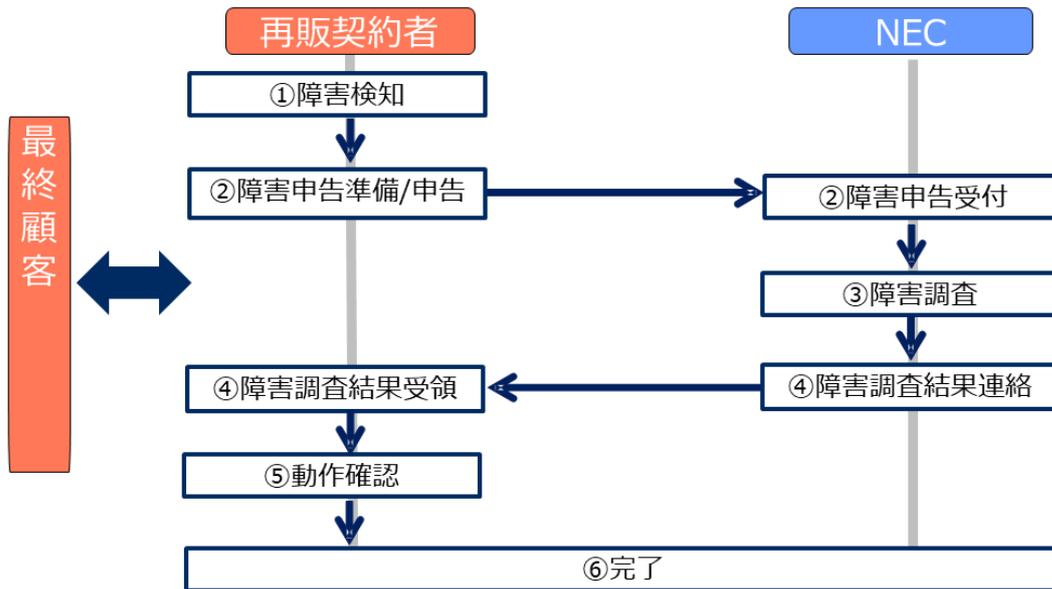


◆運用・保守

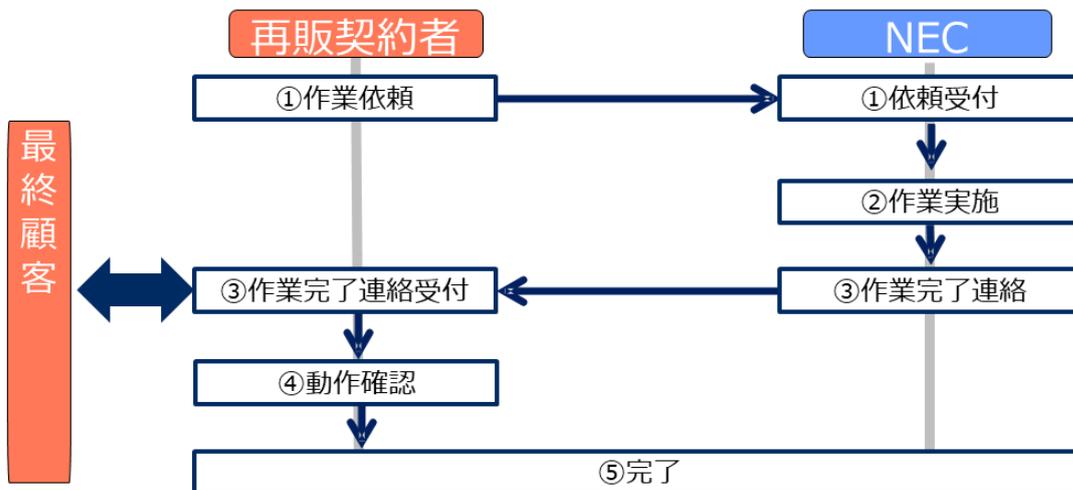
・問合せ対応



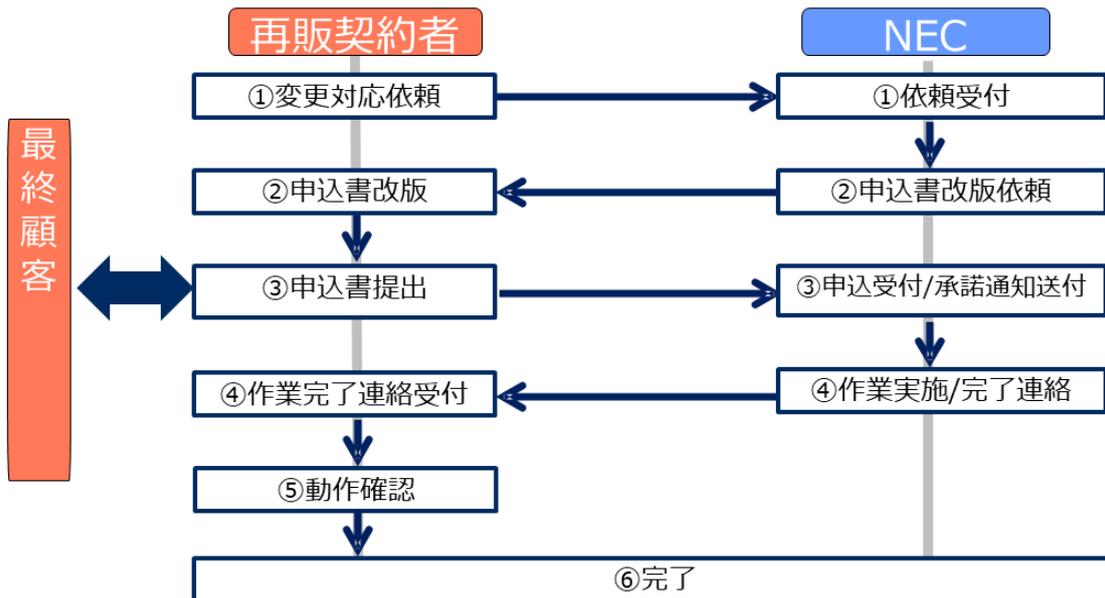
・障害対応



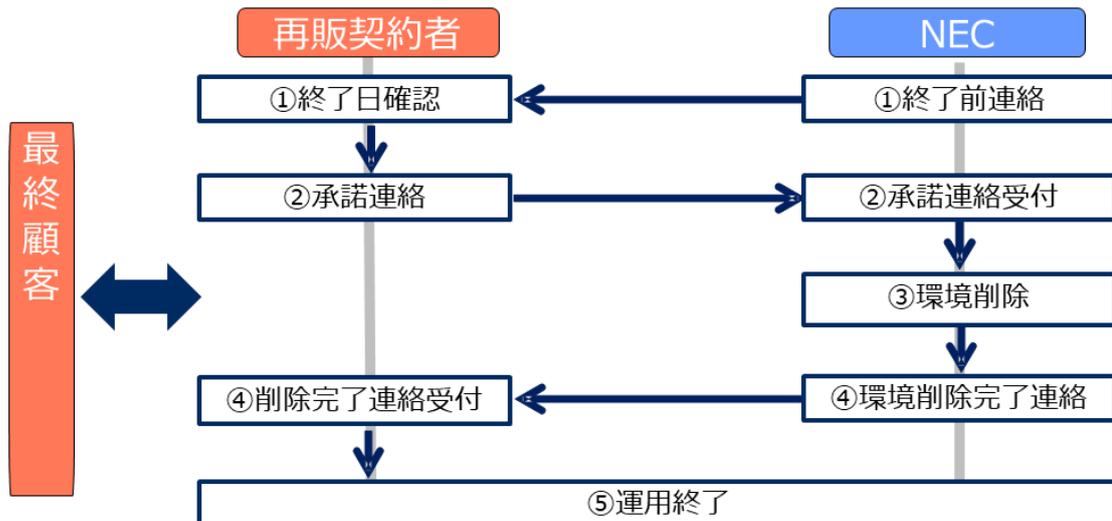
・作業依頼



・作業依頼（変更対応）



◆環境削除 (Environment Deletion)



3 サービス内容

AAPF マネージドサービスで提供するサービスの内容について説明します。

3.1 提供機能

AAPF マネージドサービスでは、以下の機能を提供します。各機能の詳細については対応する本節以後の各項を参照してください。

表 3.1 提供機能一覧

機能名	対応する項
異種混合学習エンジンおよびAPI (SAMPO/FAB, sklearn-fab)	3.1.1
RAPID 機械学習 (マッチング) エンジンおよびAPI	3.1.2
RAPID 機械学習 (時系列数値解析) エンジンおよびAPI	3.1.3
テキスト分析エンジンおよびAPI	3.1.4
対話型UI (Jupyter)	3.1.5
WebUI 機能	3.1.6
ライブラリアドオン	3.1.7
Web API 機能	3.1.8
AI-API フレームワーク	3.1.9
拡張機能	3.1.10
その他	3.1.11

3.1.1 異種混合学習エンジンおよびAPI

分析ツールとして異種混合学習エンジンおよびAPIとして、sklearn-fabを提供します。

sklearn-fabの異種混合学習で分析する例についてAAPFマニュアル「sklearn-fab Hands-on」、APIの詳細はAAPFマニュアル「sklearn-fab Reference」を参照してください。

注：AAPF V1.3 マネージドサービスまではSAMPO/FABとsklearn-fabの2種類ありましたが、AAPF V1.5 マネージドサービスのイメージにはSAMPO/FABは搭載されません。なお、AAPF V1.3 マネージドサービスからAAPF マネージドサービスをご利用されていたお客様の環境に限定してSAMPO/FABを含むAAPF V1.3 マネージドサービスのイメージ（以降、旧イメージ）が提供されます。また、AAPF V1.3 マネージドサービスの旧イメージはAAPF V1.5 マネージドサービス開始から2年間は利用できますが、旧イメージに対する脆弱性や不具合の改修は行わず、問合せ対応も可能な範囲での回答となるため、早めにsklearn-fabへの移行をお願いいたします。

3.1.2 RAPID 機械学習（マッチング）エンジンおよびAPI

分析ツールとして RAPID 機械学習（マッチング）エンジンおよび API を提供します。RAPID 機械学習（マッチング）で分析する例について AAPF マニュアル「RAPID Matching Python API Getting Started」、API の詳細は AAPF マニュアル「RAPID Matching Python API Reference」を参照してください。

3.1.3 RAPID 機械学習（時系列数値解析）エンジンおよびAPI

分析ツールとして RAPID 機械学習（時系列数値解析）エンジンおよび API を提供します。RAPID 機械学習（時系列数値解析）で分析する例について AAPF マニュアル「RAPID TSA Python API Getting Started」、API の詳細は AAPF マニュアル「RAPID TSA Python API Reference」を参照してください。

3.1.4 テキスト分析エンジンおよびAPI

分析ツールとしてテキスト分析エンジンおよび API を提供します。テキスト分析で分析する例について AAPF マニュアル「DeSTER Python API Getting Started」、API の詳細は AAPF マニュアル「DeSTER Python API Reference」を参照してください。

3.1.5 対話型 UI（Jupyter）

Jupyter Notebook による対話的な分析や、ノウハウの容易な記録と共有が可能です。詳細は AAPF マニュアル「AAPF Getting Started」を参照してください。

注：エントリー・エントリープラスプランでは他のユーザーとの共有領域を使って共有することはできません。Jupyter Notebook をローカルな環境でやり取りするなどして共有してください。

対話型 UI の利用にあたり、サポートブラウザは以下の通り、AAPF の仕様に準拠します。

- Chrome (Version 67 以上)
- Firefox (Version 52 以上)

3.1.6 WebUI 機能

AAPF が提供する WebUI 機能を利用して、ウェブブラウザ上で分析を実行するオペレーションができます。AAPF マネージドサービスでは、WebUI 機能を持つ Web サービスノード、およびコンテナノードへのアクセス手段として、サブドメインと SSL 証明書を提供します。以下、それぞれの提供内容について記載します。

WebUI の利用にあたり、サポートブラウザは以下の通り、AAPF の仕様に準拠します。

- Chrome (Version 67 以上)
- Firefox (Version 52 以上)

※AAPF マニュアル「AACluster User Guide」の「付録」の「AAPF WebUI について」の「サポートブラウザ」を参照してください。

3.1.6.1 FQDN の提供

AAPF マネージドサービスの構築ごとにシステムが自動でFQDNを払い出します。

なお、ドメイン名は事業者側で払い出します。

再販契約者、および利用者がドメイン名およびサブドメイン名を選択することはできません。

3.1.7 ライブラリアドオン

稼働中のAACluster に分析エンジン・ツール（アドオンライブラリ）を追加できます。

詳細はAAPF マニュアル「AACluster User Guide」を参照してください。

3.1.8 Web API 機能

AAPF が提供する AACluster 管理用 Web API、および分析手順を記述した Notebook を WebAPI として実行できます。ストレージノードへのデータアップロード/ダウンロードも可能です。

詳細はAAPF マニュアル「AACluster User Guide」を参照してください。

3.1.9 AI-API フレームワーク

分析手順を記述した Notebook を AI-API として実行するための機能を提供します。

詳細はAAPF マニュアル「AACluster User Guide」および、AAPF マニュアル「AI-API 作成ガイド」を参照してください。

3.1.10 拡張機能

・ストレージ容量の拡張

エントリープラスプランではストレージ容量を 10GB/契約単位で拡張することが可能です。ストレージ容量の拡張についてのご要望につきましては問合せ窓口までご連絡ください。

なお、ストレージ容量の拡張については注意事項がありますので、後述の「5 注意事項」の 11) を参照ください。

3.1.11 その他

・Jupyter Notebook Server のログ

AACluster 上で起動している Jupyter Notebook Server のログを利用者が確認できるようになりました。AACluster で何らかの問題が発生した場合に、利用者がエラーログを確認できるようになりました。詳細は『AACluster User Guide』- 「AACluster について」- 「トラブルシューティング」を参照ください。

3.2 非機能要件

本節では AAPF マネージドサービスの非機能要件について説明します。

3.2.1 サービスレベル

3.2.1.1 サービスレベルの定義

サービスレベルは AAPF マネージドサービス利用規約にて定義します。

3.2.1.2 計画停止の規定

計画停止（お客様都合による停止および緊急作業による停止を除く）は以下の 2 種類あります。いずれもサービス提供時間内でも本システムを稼働停止します。停止日時は事業者が指定します。ユーザーが指定することはできません。

- ・外部サービスの計画停止。
 - ・ 外部サービスに準拠します。
- ・ AAPF のアップデートに伴う計画停止。
 - ・ 通知タイミング：事前通知
 - ・ 通知手段：メール(停止約 1 週間前と、約 4 時間前)
 - ・ 緊急の場合はこの定め以外の限りでない。

3.2.1.3 AAPF マネージドサービスのアップデート

AAPF は以下の方針で適宜アップデートを行います。

- ・ 脆弱性については事業者側でパッチ適用等の必要性を検討し、必要に応じて適用します（契約者が指定することはできません）
- ・ OS や EKS、Python などサポート期限が設けられているものは、サポートが切れる前にバージョンアップを行います（互換性を可能な限り維持するため必要最小限のバージョンアップを行う）。
- ・ OSS など事業者以外が更新するプログラムの場合、互換性を事業者では保証できないため、利用者で確認・対応をお願いします。OSS のアップデートも 1 か月前に通知いたします。
- ・ NEC the WISE エンジンなど事業者が所有するソフトについては、互換性（※）を維持するように努めますが、互換性が損なわれる可能性がある場合、以下の対策を行います。
 - アップデートの 1 か月以上前に契約者に通知します。ただし、緊急を要する場合はその限りではありません。
 - イメージは互換性がなくなると分析処理に影響するため、アップデート前のイメージ（旧イメージと記す）をより新しい後継のイメージがリリースされてから 2 年間利用可能とします（ただし、旧イメージはアップデート前から AAPF マネージドサービスをご利用されていたお客様の環境に限定して提供されます。また、旧イメージに対する脆弱性や不具合の改修は行わず、問合せ対応も可能な範囲での回答となるため、早急に最新イメージへの移行をお願いします）。

※：機能追加や UI の違いなどは除く、アップデート前に作成したモデルが使えなくなったり、API の仕様が変わる場合などが対象

3.2.1.4 障害発生時の対応

分析環境に影響のある障害が発生した場合、再販契約者に対して障害通知を行います。

3.2.2 サービス提供時間

本サービスにおける提供時間は、1日24時間かつ1週7日とします。(計画停止と緊急作業による停止を除く)

ただし、サポート対応(問合せ対応、障害対応、作業依頼受付)については弊社営業日9:00~17:00で日本語での対応となります。

3.2.3 サービス利用料

本サービスの利用料は提供期間に応じて月額で発生する利用料と、初期セットアップ費などスポットで発生する利用料に分かれます。月額利用料は申込書に記載の利用開始日から課金されます。また、2020年11月からは月を跨った場合も利用期間(月数)に応じた利用料の請求に変更されます(従来は月を跨ると1か月の期間でも2か月分利用料が発生していました)。請求は月単位で翌月に請求されます(下記例を参照ください)。

例. 利用開始日:2月16日で、利用月数が2か月の場合、同年の4月15日まで利用できます。3月に初期セットアップ費、4月と5月に月額利用料が請求されます。

なお、エントリー、エントリープラスプランでは日割りはできませんのでご注意ください。

3.3 その他

3.3.1 問合せ

AAPF マネージドサービスに関する問合せ手段は、以下概要に示す通りとします。

表 3.2 問合せの概要

サポート対応内容	<ul style="list-style-type: none"> サービスの利用方法に関する質問 サービスの不具合に関する申告 ユーザ追加登録などの作業依頼（注） エントリープランは1件/月まで、エントリープラスプランは2件/月まで受け付けます。上限を超える対応が必要な場合は、予めサポート対応件数の追加オプションをお申し込みください。結果的に対応実績が上限を超えた場合は再販契約者と協議のうえ対応を決定します。なお、AAPF マネージドサービスの不具合に起因する問合せは対応件数に含めません。 	
問合せ	手段	<p>再販契約者が問合せ内容を問合せシート（再販用）に記載の上、以下の窓口にメールで送付願います。</p> <p>宛先：当社運用保守窓口 aapfmanaged-mt@serv.jp.nec.com</p> <p>件名：【再販申込番号】[種別] 問合せ内容</p> <p>※再販契約者からの問合せのみ受け付けます。最終顧客、認定利用者からの直接の問合せは承れません。</p> <p>※再販申込番号は利用申込書兼利用変更申込書に記載がございます。</p> <p>※種別は[質問], [障害申告], [作業依頼], [期間変更]より選択ください。</p> <p>※問合せシートの記入方法は問合せシートを参照ください。</p> <p>※なお、障害の場合、調査目的で本サービス運用保守要員向けの分析ユーザを作成し利用する場合があります。</p>
	受付時間	NEC 営業日 9:00-17:00 (JST)
	回答時間	NEC 営業日 9:00-17:00 (JST)

注：作業依頼については対応希望日の3営業日前までに申請してください。

3.3.2 利用申請

利用開始希望日の3営業日前までに当社に利用申込書兼利用変更申込書をご提示ください。対応可否を確認し、承諾通知を行い、ご希望の利用開始日までに初期セットアップを行います。ただし、同時期に複数の申込が入った場合は利用開始希望日までに初期セットアップが完了しない場合があります。ご容赦ください。

なお、利用開始日の変更につきましても、ご提示いただいた利用開始日の3営業日前までとさせていただきます。

また、利用終了日は利用申込書兼利用変更申込書に記載の利用終了日までとします（それまでに作成されていたシステム、データ等は削除されます）。

なお、利用終了日を延長したい場合、利用終了日の10営業日前までに新たな利用終了日を記入した利用申込書兼利用変更申込書を提出し、当社が承諾した場合、当該利用申込書兼利用変更申込書に定める利用終了日まで利用期間が延長されるものとします。

3.3.3 サポートライフサイクル

AAPF マネージドサービスについて、システム構造、サービス内容、契約条件など大幅な変更に伴い既存の環境を新たなバージョンにアップデートできない場合は、当該バージョンのサービス開始後、2年で新規利用の受付を終了、さらにその3年後にサポート終了とします。以後も継続利用されたい場合は個別にご相談ください。

4 責任範囲

AAPF マネージドサービスの責任範囲は、以下の分担とさせていただきます。

4.1 システム作成時の責任範囲

AAPF マネージドサービスシステム作成および初期設定における責任範囲は、以下の分担とさせていただきます。

表 4.1 システム作成時の責任範囲

(凡例) ○：責任範囲 -：責任範囲外 △：再販契約者、最終顧客間の契約次第

項目	事業者 責任範囲	再販契約者 責任範囲	最終顧客 責任範囲
最終顧客への再販契約者サービスの説明、同サービスの契約手続きの整備	-	○	-
再販契約者サービスのサービス内容、BP、体制などの情報提示	-	○	-
料金の設定、再販規約への反映	○	-	-
再販契約者サービスの申込	-	-	○
AAPF マネージドサービスのサイジング及び再販契約申請	-	○	-
最終顧客との契約許諾	○	-	-
最終顧客との再販契約者サービスの契約	-	○	-
AAPF マネージドサービス環境へのアクセスに必要な通信手段の準備 ※1 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者端末 ・ インターネット経由での接続 など 	-	△	△
マネジメント/Web サービス/ストレージ/コンテナノードセットの環境準備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮想サーバの構築 ・ マネジメントノードのインストール ・ Web サービスノードのインストール ・ ストレージノードのインストール ・ コンテナノードのインストール ・ SSL 証明書の払い出し ・ FQDN の払い出し 	○	-	-
マネジメント/Web サービス/ストレージ/コンテナノードセットの環境設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各ノードの連携設定 ・ 利用者 (AAPF ユーザ) の登録 	○	-	-
Python パッケージ (DB ドライバ含む) の追加	-	△	△

※1 以降に記載する環境利用時、および環境削除時においても、同様の責任範囲とします。

4.2 システム利用時の責任範囲

AAPF マネージドサービスのシステム利用（運用）時における責任範囲は、以下の分担とさせていただきます。

表 4.2 システム利用時の責任範囲

(凡例) ○：責任範囲 -：責任範囲外 △：再販契約者、最終顧客間の契約次第

項目	事業者 責任範囲	再販契約者 責任範囲	最終顧客 責任範囲
AAPF の利用	-	△	△
再販契約者サービスの提供（再販契約者が本サービスに付加して提供するサービス）	-	○	-
最終顧客からの問合せ一次受け（AAPF マネージドサービスのドキュメントに記載されている内容の回答）	-	○	-
AAPF の運用（AAPF を利用可能な状態とする）	○	-	-
AAPF システムのバックアップ※5	○	-	-
AAPF マネージドサービスのシステムに含まれるソフトウェアのパッチ適用、アップデート※1	○	-	-
AAPF マネージドサービスのアップデート予定の通知	○	△	-
AAPF マネージドサービスのアップデートに伴うユーザープログラムにおける差分吸収	-	△	△
AAPF マネージドサービスのアップデートに伴い NEC the WISE など事業者が所有するソフトが非互換となる場合の旧イメージの提供（※6）	○	-	-
SSL 証明書の更新	○	-	-
利用者（AAPF ユーザ）の ID 管理	-	○	○
利用者（AAPF ユーザ）のパスワード管理	-	△	○
データの管理※2	-	△	△
AACluster 起動時のリソース選択（CPU タイプ選択）	-	△※3	△※3
ストレージ容量の拡張サイズ決定と変更申請	-	○※4	再販契約者に申請
ストレージ容量の拡張作業	○	-	-

※1 パッチ適用、アップデート基準の設定・適用判断、および適用方法は事業者が決定します。

※2 当社で AAPF マネージドサービス環境を削除することによって、環境に保管しているデータはすべて削除されますのでご注意ください。データの退避が必要な場合は、再販契約者、最終顧客にて退避・保管をおこなっていただく必要があります。退避・保管に関してご相談があれば問合せください。

※3 契約したリソースを超える CPU タイプが表示されるケースがありますが選択できません。

※4 ストレージ容量の拡張はエントリープラスプランのみ可能です。オプションとなるため再販契約者の依頼により対応します。なお、ストレージ容量の拡張については注意事項がありますので、後述の「5 注意事項」の11)を参照ください。

※5 AAPF システム全体のバックアップを定期的に行いますが、システム破壊時など不測の事態に備えたバックアップであり、再販契約者、最終顧客の要望で復旧は行いません。

※6 イメージファイルに互換がなくなる場合、旧イメージをより新しい後継のイメージがリリースされてから2年間利用可能とします。ただし、旧イメージはアップデート前からAAPF マネージドサービスをご利用されていたお客様の環境に限定して提供されます。また、旧イメージに対する脆弱性や不具合の改修は行わず、問合せ対応も可能な範囲での回答となるため、早急に最新イメージへの移行が必要です。

4.3 システム解約時の責任範囲

AAPF マネージドサービスシステム削除における責任範囲は、以下の分担とさせていただきます。

表 4.3 システム削除時の責任範囲

(凡例) ○：責任範囲 -：責任範囲外 △：再販契約者、最終顧客間の契約次第

項目	事業者 責任範囲	再販契約者 責任範囲	最終顧客 責任範囲
AAPF マネージドサービスの削除申請	-	○	再販契約者に申請
AAPF 上に配置したお客様データの退避	-	△	△
削除申請に伴うユーザ削除	○	-	-

5 注意事項

AAPF マネージドサービスの注意事項は下記のとおりです。

- 1) AAPF マネージドサービスのシステムのパッチ適用、アップデートは事業者側での作業となります。それらの適用基準の設定、適用の判断、および適用方法は事業者側が決定します。再販契約者、および最終顧客、認定利用者側での適用の判断、適用はできません。
- 2) AAPF の実行性能については保証しません。
- 3) AAPF における注意事項は、各 AAPF マニュアルを確認ください。
- 4) AAPF の各分析エンジンにおける注意事項は、各分析エンジンのマニュアルを確認してください。
- 5) AAPF の過去バージョンとの互換性は分析モデル含めありません。過去バージョンからの移行を行う場合は事前にご相談ください。

AAPF V1.5 以降はアップデート方針に従い旧イメージを提供しております。詳細は「3.2.1.3 AAPF マネージドサービスのアップデート」を参照ください。

- 6) AAPF マネージドサービスの環境に独自にアプリケーションをインストールすることはできません。別にサーバを作成頂きインストール頂くこととなります。
- 7) クラウドサービスのアカウントはお渡しできません。
- 8) 定期メンテナンスや計画停止時に AACluster の削除が必要なケースがあります。事前の連絡に従い削除、サービス再開後に再作成が必要となります。
- 9) AAPF やイメージのアップデートにより notebook や AI-API に影響が発生する場合があります。アップデート時の通知内容にご注意ください。
- 10) 申込について、利用開始希望日の 3 営業日前までに当社に利用申込書兼利用変更申込書をご提示頂くようになっておりますが、同時期に複数の申込が入った場合は利用開始希望日までに初期セットアップが完了しない場合があります。ご注意ください。
- 11) ストレージ容量の拡張はエントリープラスプランのみ可能です。最終顧客単位でユーザーごとのストレージ容量を一律で拡張することになります（特定のユーザーのみ拡張することはできません）。拡張は 10GB/契約単位となること、1GB/ユーザー単位で拡張が必要なため、vCPU1 コアモデルでは 30GB/契約単位での拡張となります。その他、拡張作業は約 1 か月お待ち頂く場合があること、ストレージ容量上限に達する場合は拡張できない場合もあること、一度拡張した容量を削減することはできないなどの注意事項があります。
- 12) AACluster 起動時のリソース選択（CPU タイプ選択）時に契約したリソースを超える CPU タイプが表示されるケースがありますが選択できません。
- 13) 作成した AACluster の性能タイプのコア数の合計が契約したコア数を超えない範囲で、複数の AACluster を作成できます。合計が契約コア数を超えて AACluster を作成しようとすると、エラーとなり、AACluster を作成できません。
- 14) SAMPO/FAB は AAPF V1.5 マネージドサービスから標準搭載されません。なお、AAPF V1.3 マネージドサービスから AAPF マネージドサービスをご利用されていたお客様の環境に限定して SAMPO/FAB を含む AAPF V1.3 マネージドサービスのイメージ（以降、旧イメージ）が提供されます。また、AAPF V1.3 マネージドサービスの旧イメージは AAPF V1.5 マネージドサービス開始から 2 年間は利用でき

ますが、旧イメージに対する脆弱性や不具合の改修は行わず、問合せ対応も可能な範囲での回答となるため、早めに sklearn-fab への移行をお願いいたします。

- 15) AAPF マネージドサービスのアップデートに関する注意事項は、「3.2.1.3 AAPF マネージドサービスのアップデート」を参照してください。

6 制限事項

AAPF マネージドサービスの制限事項は下記のとおりです。

- 1) AAPF の制限事項、サポート対象外の機能等は、「NEC Advanced Analytics Platform v1.5 マネージドサービス Release Notes」、および各イメージごとの「Release Notes」を参照してください。
- 2) AAPF の各分析エンジンにおける制限事項は、各分析エンジンのマニュアルを確認してください。
- 3) 再販契約者、および最終顧客、認定利用者は各ノードにアクセスすることはできません。そのため、再販契約者、および最終顧客、認定利用者側で各ノードに直接アクセスしてアプリケーションなどソフトウェアをインストールすることはできません。
- 4) 再販契約者、および最終顧客、認定利用者は本仕様書に記載の変更可能な設定を変更することはできません。
- 5) サーバの追加やネットワーク機器の変更など、本仕様書に記載の変更可能な設定以外に設定・構成を変更することはできません。
- 6) 再販契約者、および最終顧客、認定利用者がライブラリアドオン機能などを使用してインストールした、あるいは個別にインストールを依頼したライブラリやパッケージなどのソフトウェア、およびそれらによるプレインストールされていた AAPF への影響については、サポートの対象外とさせていただきます。
- 7) 脆弱性への対応などのため OS や、OSS などをアップデートしたことによる再販契約者、および利用者が作成したプログラム、およびインストールしたソフトウェアへの影響はサポートの対象外とさせていただきます。
- 8) プレインストールされている AAPF に含まれる OSS について問い合わせは受け付けますが、サポート対象外とさせて頂く場合もあります。

7 禁止事項

AAPF マネージドサービスの禁止事項は下記のとおりです。

- 1) 事業者により提供される AAPF マネージドサービスのコンテナイメージの持ち出しは禁止します。
- 2) AAPF マネージドサービスのサービス再販規約で規定された範囲外での利用は禁止します。
- 3) 特定個人情報（マイナンバーをその内容に含む個人情報）、および個人が特定される生体情報を本サービス環境に格納することは禁止とさせていただきます。
- 4) 再販契約者は AAPF マネージドサービスをそのまま再販することはできません。必ず、技術サービス、問合せ一次受け（必須）、分析サービス等、付加価値をつけて再販契約者サービスとして最終顧客に提供する必要があります。
- 5) 再販契約者は、再販規約、サービス仕様書（再販向け）に基づき再販契約者が負うべき義務と同等の義務を、最終顧客に遵守させる規約無しに再販契約者サービスを契約することはできません。

商標について

- 本マニュアルに掲載された各社名、各製品名、各ロゴは、各社の商標または登録商標です。
-

NEC Advanced Analytics Platform

Ver1.5

マネージドサービス

(再販向け: エントリー、エントリープラスプラン)

サービス仕様書

© NEC Corporation 2022

2022年 7月

日本電気株式会社

(禁無断複製)